



<2020年3月号>

156号 2020.03.02 配信

冬の寒さを乗り越え、芽を出す新緑や桜の開花の便りが待ち遠しい今日この頃ですが、世界各地に拡散し猛威を振るっている新型コロナウイルスに対し、不要不急の外出を控えよう余儀なくされています。自己防衛してこの非常時を乗り切ってまいりましょう。本学の学生も旅立ちの時を迎えます。新たなステージでの益々の活躍を心より応援しています。

## ■同窓会だより

### 『食』関連ネットワーク講演会(2月29日)及び支部設立総会開催(3月1日)中止のお知らせ

同窓生の皆さまにはご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、皆さま方ご存じのように、新型コロナウイルス感染症が日々拡大いたしております。この現況から皆さま方の安全を考慮し、2月29日の『食』関連ネットワーク講演会及び3月1日の支部設立総会を急遽中止とさせていただくことといたしました。参加をご予定されておられました皆さまには申し訳なく、ご寛容賜りたくお願い申し上げます。なお、『食』関連ネットワーク講演会及び支部設立総会の開催につきましては、後日検討し改めてご案内申し上げます。

2020年2月22日

昭和女子大学 光葉同窓会  
会長 比護 和子

## ■学園だより

◇3月7日(土) 3月期入学試験

◇**中止** 3月16日(月) 卒業式 (式典は中止、学科・専攻ごとに学位記授与)

◇**中止** 3月28日(土) 第1回オープンキャンパス (13:30~16:30)

◇キャリア支援センターから「2020年度春期 社会人メンター募集のお知らせ」

学生が社会人から、仕事や実社会での経験を伺うことで、将来働く自分の姿を具体的に考える機会を大学が提供する制度です。

皆様、ぜひ後輩のためにご応募ください。(現職者歓迎)

募集期間: 3月9日(月)~3月31日(火)

募集の詳細は前号(155号)または、社会人ネットワークホームページ

<https://mentor.swu.ac.jp/>をご参照ください。

## ■ 広げよう光の葉

小島 和子さん

1993年 英米文学科卒

### 「グローバル・スタディ」

私は現在、さいたま市立小学校において、英語教育に携わっています。子供たちの学習意欲を高め学力をつけることは、常に学校教育の基軸となっています。さらにさいたま市では、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子供をはぐくむことを目指しています。「英語」を「グローバル・スタディ」としてグローバル社会で生き抜く力をつける事を目指しています。

私が具体的に取り組んでいることは、

(1) 学習形態を工夫し、子供の意欲を高める。

昭和ボストンでの講義は、先生からの問いに、学生たちが次々と挙手し発言し合い、意見を言い合う場でした。1時間半の講義があつという間に過ぎたことを覚えています。これこそ今求められている、主体性、対話的、深い学びであると考えます。そのためには、①児童にとって興味深い内容にし、豊かなコミュニケーションモデルを示す。②児童が意見を言い易い場を作りたい。具体的には、ペアからグループ、グループからクラス全体と発言、発表の場を小さな所から大きな所に進めていく事で苦手意識をもつ児童も気付いたら話せていたという安心出来る環境をつくる。さらにボストンで学んだ異文化や外国人との交流体験を児童に伝え、③体験的活動を多く取り入れた授業を展開する。

(2) 学力をつけるために、授業の実践方法を工夫する。そのためには、①反復練習のみならず、音やリズムを用いて単語や文が自然に身につくように指導する。内容をわかりやすくするために、②掲示カードやワークシートなど教材研究を大事にする。③ICTを積極的に活用し児童の興味を深めたい。④自身の授業スキルの向上のために研修会など積極的に参加したい。

私にとって昭和女子大学での学びが大きな土台となっています。金子朝子先生の英語科教育法、古澤寛行先生のアメリカ文化研究など、今でも鮮明に覚えています。また助手の仕事で得たものは大きくかけがえのない経験として、たくさんご指導頂いたこと、深く感謝しております。

今年はオリンピックがいよいよ日本で開催されます。私たちは大いに期待せずにはいられません。これからも強い情熱をもち、子供の成長の手助けとなれるよう努力していきたいと思っております。 【End】